

Unityによる 地理空間情報を用いた ARコンテンツ開発実習



申込はこちら

9/28 (水) 29 (木) 13:00-15:00

講師：Unityクリエイター きっポジ@kitposition氏

屋外でスマートフォンをかざすと、バーチャルな3D道案内表示ができるようになってきました。本研修では、参加者が受講場所近隣の屋外にスマートフォンをかざすと、事前に指定した場所に3Dモデルが表示されるARコンテンツ開発を通じて、XRコンテンツ開発の基本的な知識の習得を目指します。

【スケジュール（予定）】

28 (水)	13:00-15:00	<ul style="list-style-type: none"> 開発環境確認 実習 適宜休憩
29 (木)	13:00-14:50	<ul style="list-style-type: none"> 実習 動作テスト 適宜休憩
	14:50-15:00	Q&A

完成イメージ

※3Dモデルは変更になる可能性があります

対象者

- 地理空間情報を用いたARコンテンツを作成してみたい方
- Unity未経験の方もOK

必要機器、開発環境

- Windowsパソコン（Windows10 or 11）
 - ARCore対応Androidスマートフォン（[対象デバイス](#)）
 - Unity（バージョン：2021.3.xx1以降）
- ※お申し込みの方には事前準備の補助資料を配布予定です。

お問い合わせ先

(地独) 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部
ものづくり支援センター 担当：井筒（いとう）
電話：011-747-2337 / E-mail：kaihatsu@hro.or.jp



道総研

本研修は、地域活性化雇用創造プロジェクト事業の一環として実施しています。
ご参加いただいた企業の皆様には、研修会終了後に雇用面での取組や、雇用実績などの調査をお願いしております。
今後の取組の資質向上に役立てる目的ですので、ご協力をお願いします。

※記載していただいた個人情報は、研修・セミナー等の運営目的以外では使用いたしません。